

学習指導要領		蒲田高校 学カスタンダード
<p>(1) 数と式</p> <p>ア 数と集合 (ア) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>(イ) 集合 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用すること。</p> <p>イ 式 (ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p> <p>(イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p> <p>(2) 図形の計量</p> <p>ア 三角比 (ア) 鋭角の三角比 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。</p> <p>(イ) 鈍角の三角比 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求めること。</p> <p>(ウ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。</p> <p>イ 図形の計量 三角比を平面図形や空間図形の考察に活用すること。</p>	<p>四則計算を確認し、有理数の範囲で計算できるようにする。また数の範囲が実数の範囲に広がることを認識させ、簡単な無理数の計算方法を習得する。</p> <p>集合の意味および基本的な用語や記号を理解し、ベン図を利用して二つの集合について共通部分、和集合、補集合を求めることができる。</p> <p>文字式の計算の基礎となる指数法則を理解し、これと分配法則に基づいて、整式についての乗法を計算できるようにする。また乗法公式や因数分解の公式を利用して基本的な式の展開や因数分解ができるようにする。</p> <p>不等号の意味を理解し、数直線を利用して不等式を表現する。基本的な1次方程式の解き方を復習し、簡単な1次不等式が解けるようにする。</p> <p>三角比としてのタンジェント、サイン、コサインの意味を理解させ、簡単な直角三角形の三角比を求めることができるようにする。</p> <p>鋭角の三角比の性質をもとに、鈍角の三角比で負の値が出る理由を理解する。</p> <p>与えられた辺の長さや角度を整理し、求めたい値に必要な定理を適切に使えるようにする。</p> <p>三角比を利用して三角形の面積を求められるようにする。</p>	

学習指導要領		蒲田高校 学カスタンダード
<p>(3) 二次関数</p>	<p>ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。</p> <p>イ 二次関数の値の変化 (ア) 二次関数の最大・最小 二次関数の値の変化について、グラフを用いて考察したり最大値や最小値を求めたりすること。</p> <p>(イ) 二次方程式・二次不等式 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解するとともに、数量の関係を二次不等式で表し二次関数のグラフを利用してその解を求めること。</p>	<p>x と y の相互関係を表にして、求めた値を座標平面上に表せるようにする。それをもとに二次関数のグラフをかき、グラフの特徴を理解する。</p> <p>グラフの特徴を理解し、グラフから最大値・最小値がどこになるのか判断し、求められるようにする。</p> <p>因数分解および解の公式を用いて基本的な二次方程式を解けるようにする。また二次関数のグラフと x 軸との交点の x 座標が二次方程式の解であることを理解する。</p>
<p>(4) データの分析</p>	<p>ア データの散らばり 四分位偏差、分散及び標準偏差等の意味について理解し、それらを用いてデータの傾向を把握し、説明する。</p> <p>イ データの相関 散布図や相関係数の意味を理解し、それらを用いて二つのデータの相関を把握し説明すること。</p>	<p>データを整理し、度数分布表、ヒストグラムにまとめられるようにする。</p> <p>四分位数の意味を理解し、箱ひげ図で表せるようにする。</p>